



地域の交通課題と電動小型低速車への期待



平成29年3月2日

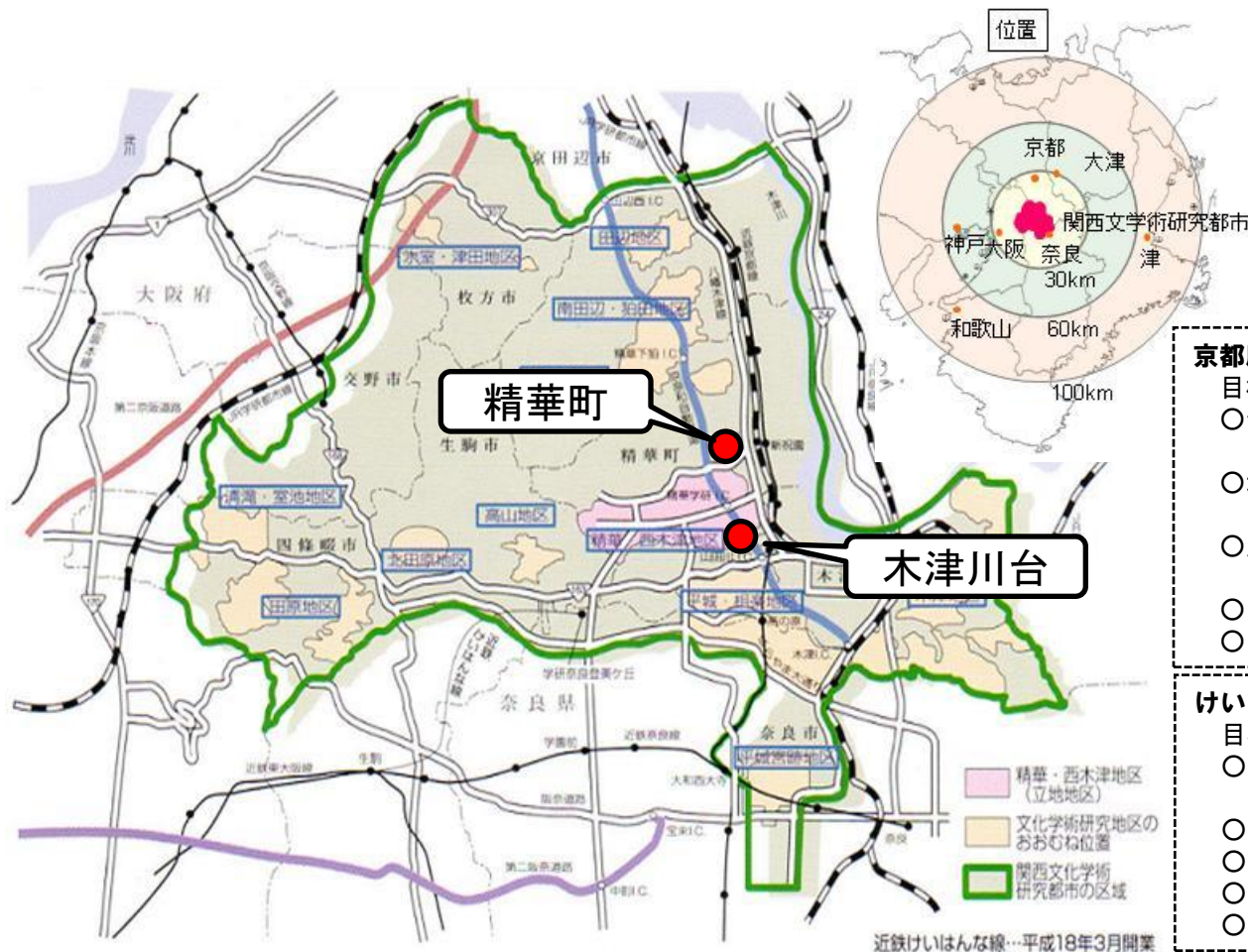
京都府建設交通部 村尾俊道



Gakken Share EV

社会実験 2010

関西文化学術研究都市



京都府の施策

京都府EV・PHVタウン推進マスタープラン

目標

- 全国最高水準のEV・PHV普及率
2013年度までに5,000台
- 地域特性に応じた普及策の展開
大都市観光地、過疎地、新都市、北部観光地
- 広域充電インフラネットワークの構築
急速充電器50基、100V・200Vコンセント7,000基
- EV・PHV関連の新産業創出の支援
- EV・PHVに関連する産学官民連携の推進

けいはんなエコシティ推進プラン

目標

- 環境・エネルギー分野における新産業創出と産業立地の促進
- 低炭素型次世代交通システムの構築
- 環境共生型住環境・都市環境の整備
- 国際環境交流の推進
- 戦略的な推進体制の整備



Gakken Share EV

社会実験 2010

けいはんな社会実験・チーム構成

- ▼実施主体 国土交通省 都市・地域整備局 自動車交通局
- ▼企画調整 京都府政策企画部企画総務課・文化学術研究都市推進室
木津川市学研企画課
精華町都市計画課
- ▼運営主体 パシフィックコンサルタンツ 大阪本社
- ▼デザイン ジイケイ京都
- ▼アドバイザリー 京都大学大学院低炭素都市圏政策ユニット
- ▼地元調整 木津川台連合自治会
木津防犯推進委員協議会木津川台支部・精華台支部
精華町シルバー人材センター



Gakken Share EV

社会実験 2010

社会実験実施上の基本スタンス

- これまでの社会実験による知見(反省も含め)
交通行動の変容はライフスタイルの変容を求めるもの
地域に根ざしたモノであること
既存の枠組みを活用すること
実験後の継続性があること(実験のための実験に終わらせない)
 - 今、この地域でやるに当たって求められること
郊外のニュータウンの高齢化問題(移動にはクルマが必需品・郵便局、病院)
空き巣被害の顕在化(自主防犯活動)
希薄になりがちなコミュニティ(あいさつや会話がなない・防災活動)
ガソリンの高騰、複数保有のコスト、環境意識の高まり
- 自主防犯・防災活動を支援したい
 - 地域コミュニティを醸成したい
 - 高齢者にも優しい交通インフラを作りたい



Gakken Share EV

社会実験 2010

そこで、青色防犯パトロール車にEVを

京都府内の青色防犯パトロール車の登録台数は、平成22年11月末現在、**103団体478台**がパトロールを実施
醍醐地区、長岡京市、向日市では、京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金(1/3補助)を活用して、青色防犯パトロール車を導入し、パトロールを実施



← 醍醐地域防犯推進委員連絡協議会の車両

- ・木津川台では7台が登録
木津防犯推進委員協議会木津川台支部が活動
- ・防犯活動にEVを使えば、静かでランニング経費も安いのでは
- ・2人乗れなくてはいけない

- ・空き時間に一般利用が進めば維持費も捻出できるのでは？
 - ・継続性を考えると、IT技術の活用や外部委託では経費が高すぎる
- 防犯役員による予約管理 → 地元店舗&自治会役員による鍵の受け渡し
- 地域による自主管理** **顔の見える・会話のある仕組み**

木津川台カーシェアリングの利用方法

利用条件と運用方法

①利用条件

- ・利用説明会を受講し会員登録をしていること
- ・普通免許証保有者に限る

②一般利用者の募集・運用方法

- ・各自治会を通じて声掛け(回覧板などによるチラシ配布)。
- ・実験期間中利用したい人は、管理・受付先に申込書に必要事項を記入して提出し、貸し出しを受ける。

〔車両保管場所〕



3丁目集会所



Casis rea 木津川台

〔車両保管場所と電源設置イメージ〕

〔管理・受付先〕

東木津川台：〇〇防犯推進委員

電話番号：

※ 副地域長宅での鍵の受け取り

西木津川台：〇〇防犯推進委員

電話番号：

※ カンシレアで鍵を受け取り

※ キーボックスの鍵は複数で保管



車名	REVA-CLASSIC
車種	軽自動車
寸法	(長さ)2.63m(幅)1.32m(高さ)1.53m
車両重量	740kg(665kg=バッテリー水を除く)
車両総重量	960kg
乗車定員	4人
性能	最高速度 80km/h

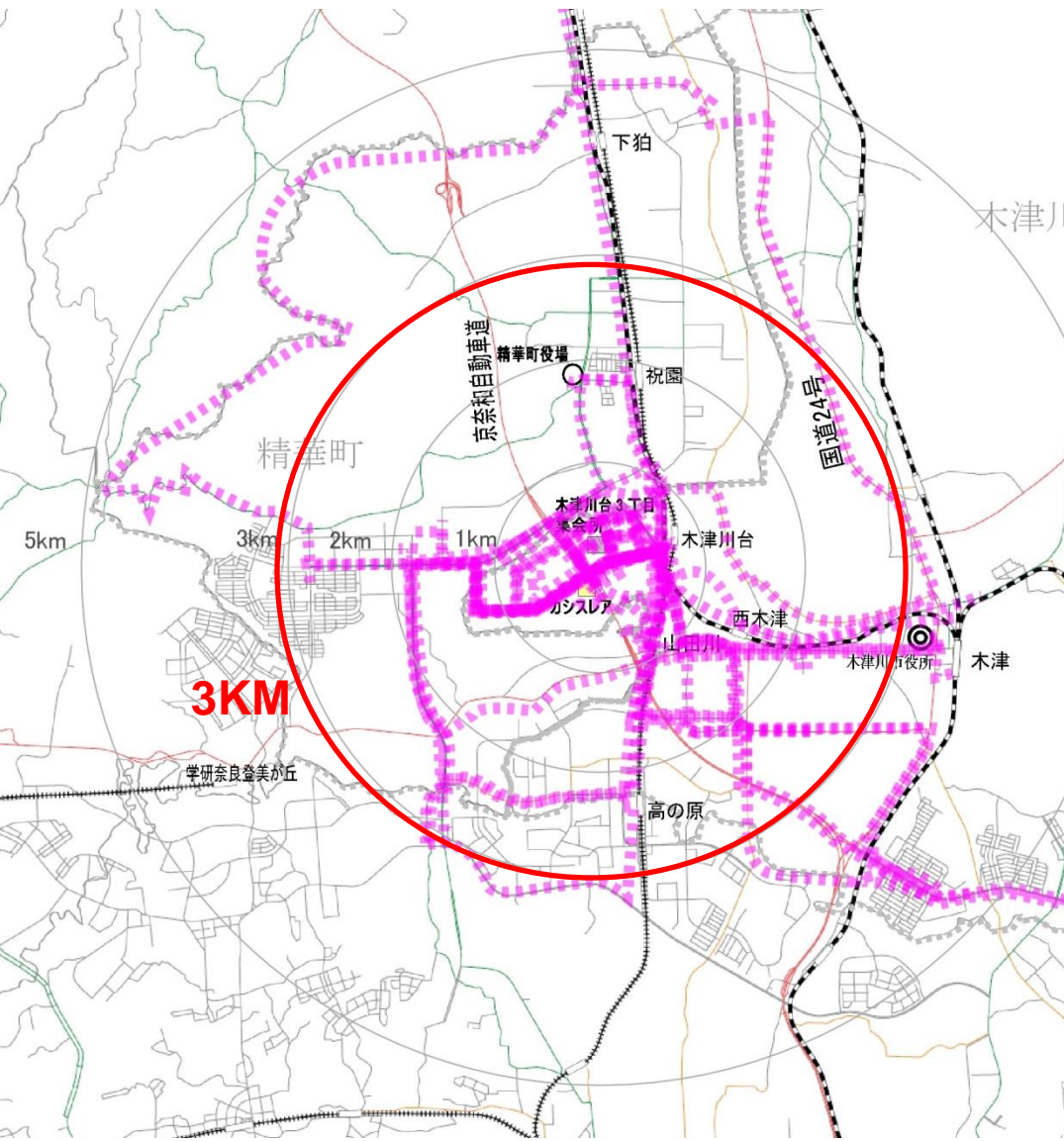


図 超小型EVで出かける際の目的地

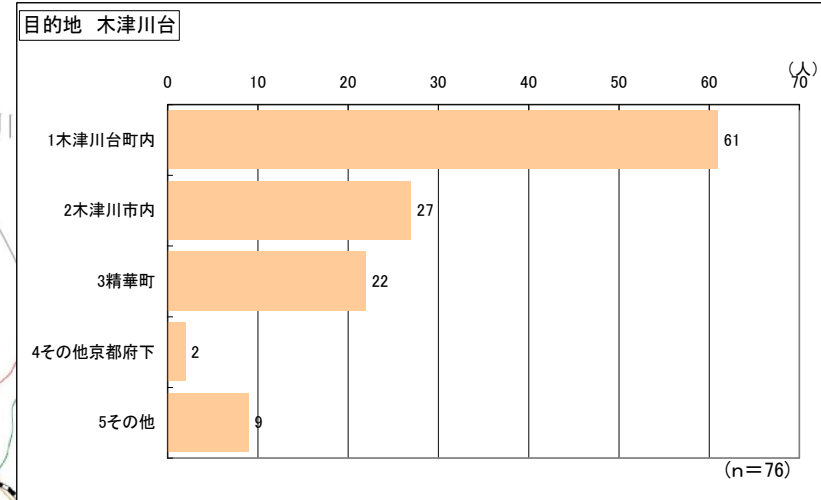
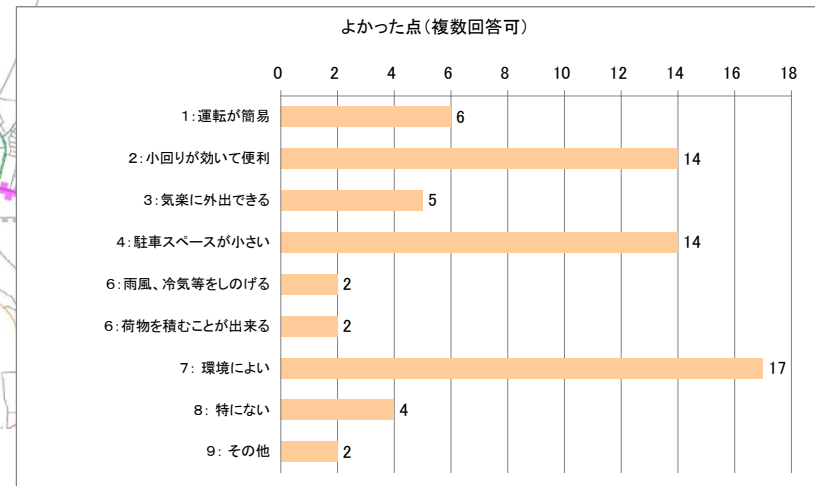


図 超小型EVのよかった点



- ・移動範囲は木津川台の3km圏内が大半
- ・超小型EVのよさは小回りが効いて便利で駐車スペースが小さいこと



Gakken Share EV

社会実験 2010

ワークショップ & アンケートから見えてきたこと

- ▼利用場面 地域活動、買い物、家族の送迎、通院
 - ・ ・ いずれも利用頻度は、さほど高くない
- ▼良い点 環境、小回りが利く、駐車スペース
- ▼問題点 **残量計**、坂道発進、加速性、走行距離、充電操作、**予約・鍵**
- ▼カーシェアリング 85%が地域で共有の車両を持つことに賛意
 - うち 64%が安価であれば自治会など地域で運営に賛意
- ▼利用料金 1回2時間 ¥200~500が52%
- ▼購入希望額 40万円以下であれば 65%の方が購入
- ▼利用した訳 EVに乗って見たかった72%
 - もう利用したくないは4%だけ 問題が改善されれば59%利用
- ▼WSの意見
 - ・ 地域で今後も計画づくりから参画したい
 - ・ **ゴルフカートでよいかも**

成果と課題 2010

成果

- ・地域と共に進める・育てる実験体制の構築
- ・電気自動車のPR(実験参加155名、せいか祭200名、保育園児、FM、CATV)
- ・デザインの力による集客力
- ・地域の交通と車利用を考えるきっかけづくり(WS)
- ・従来の軽自動車の先に有るモノではない



課題

- ・継続のための仕組み検証(運営主体)
 - 課金による支払い意志額確認、予約方法、鍵管理
- ・使用車両の課題解決
 - 航続距離、電池残量の把握、力不足、坂道発進、充電の操作
- ・新しいカテゴリー
 - 低速走行、コミュニティカー、低価格、ゴルフカート



Gakken Share EV

社会実験 2016

実験日時:平成28年11月15日(火)~21日(月)

実施場所:木津川市木津川台地区

実施主体:京都府、木津川市

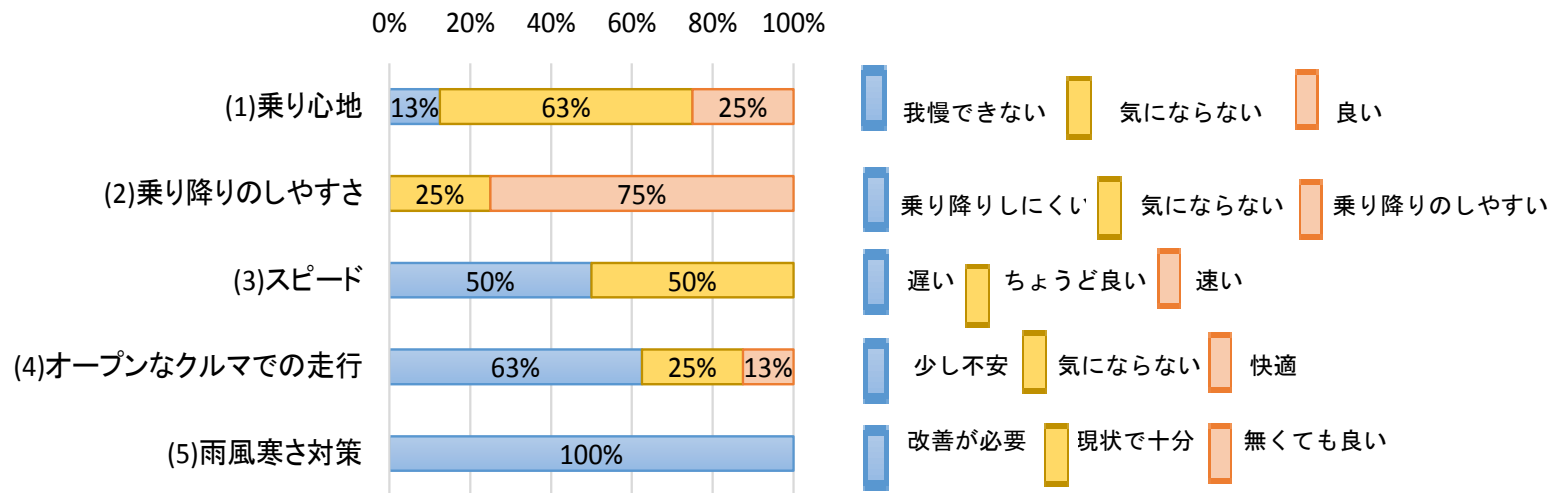
協力:木津川台連合自治会、木津防犯推進委員協議会木津川台支部、ヤマハ発動機(株)
ヤマハモーターパワープロダクツ(株)、(株)ジイケイ京都

目的:地域の防犯活動での活用及び日常利用での使い勝手の検証



■ゴルフカー試乗の感想

- ・乗り心地: 63%が「気にならない」、25%が「良い」、13%が「我慢できない」
- ・乗り降りのしやすさ: 75%が「乗り降りしやすい」、25%が「気にならない」
- ・スピード: 「遅い」、「ちょうど良い」がそれぞれ50%
- ・オープンなクルマでの走行: 63%が「少し不安」、25%が「気にならない」、13%が「快適」
- ・雨風寒さ対策: 全員が「改善が必要」



自由記述記載内容	回答数
ヒーターは必要	1
今回の試用車を商用化する場合、性能は現行でよいと思うが、装備等に年間通して乗れるようドア等が必要。	1
簡易な“車”を地域で活用するという考えには賛同する。 低速限定、超軽量であればゴルフカーにこだわる必要はない。 もう少し手を加え、操作性・快適さを向上させた方がよい。 軽いドアをつけて何がいけないのか？ゴルフカーを街の乗物にそのまま使うというの はやや無理がある。	1
速度が遅いため交通量の多い道路での走行は危険が伴うので、40km/h 程度まで 走行できたら良いと思う。	1
防犯パトロール等の町内見回り	1

成果と課題 2016(木津川台)

■車両に対する評価

防犯委員の皆さんは2010年の車両と比較しての意見表明と史料。

・乗り心地、乗り降りのしやすさは高評価。

・スピードはやや不足感

実施時期が季節的に11月中下旬

・ヒーターや雨風対策としてのドアの要求が高い

保管場所、駐車中の盗難対策

・屋外に放置するため、雨天時には座席が濡れたり、盗難・いたずらの可能性があるため、共同利用する場合には鍵がかけられることが必要

■使用用途

・防犯の見回り活動(約1時間)・・・比較的長時間利用

・晴天時であれば住宅街区内で駅への送迎、買物

・普通自動車の運転免許を返納後も利用できる規格の要望も

■共同利用

・料金の設定次第で利用可能性あり、1回200円程度、月3000円程度

・実施に向け、鍵の受け渡し方法及び料金收受の方法、運営主体の整理が必要

雑感:木津川台の防犯委員の方々はゴルフカートの運転に違和感がない高齢男性
長時間・共同利用を想定すると雨風対応のドアや鍵、相応の車両デザインが必要
一方で、この車両が地域の水平エレベーターとして自動走行が可能になれば、乗り降りの容易な車両への期待は高い

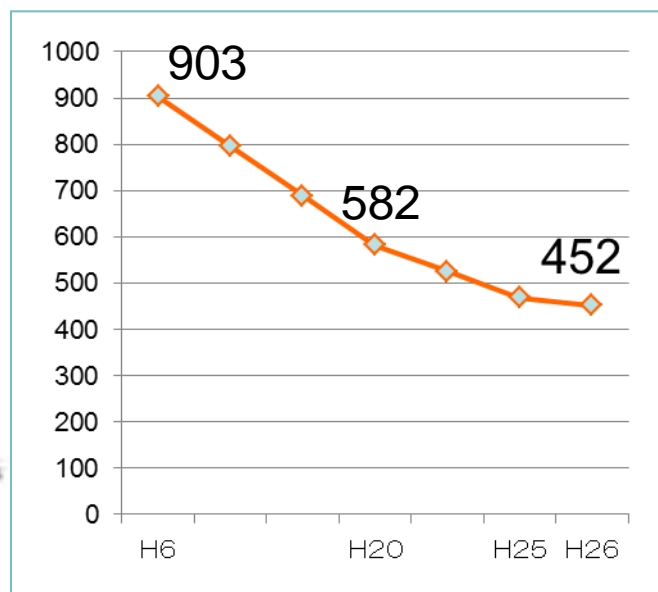
中山間地域での交通課題

ささえ合い交通

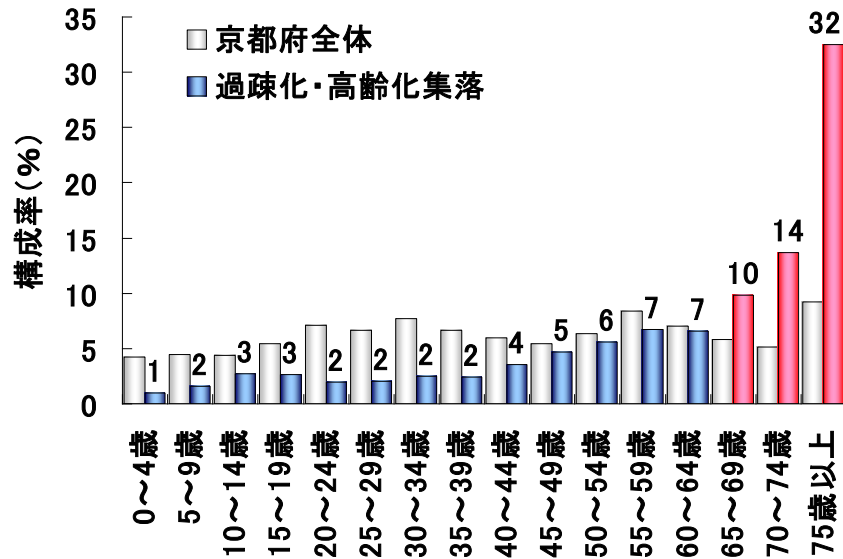


- ・消える商店・学校・金融機関
- ・消えるタクシー営業所
- ・バス運転手・交通の担い手不足
- ・消えるガソリンスタンド
- ・地域の交通需要の縮小はモータリゼーションだけが理由では無い

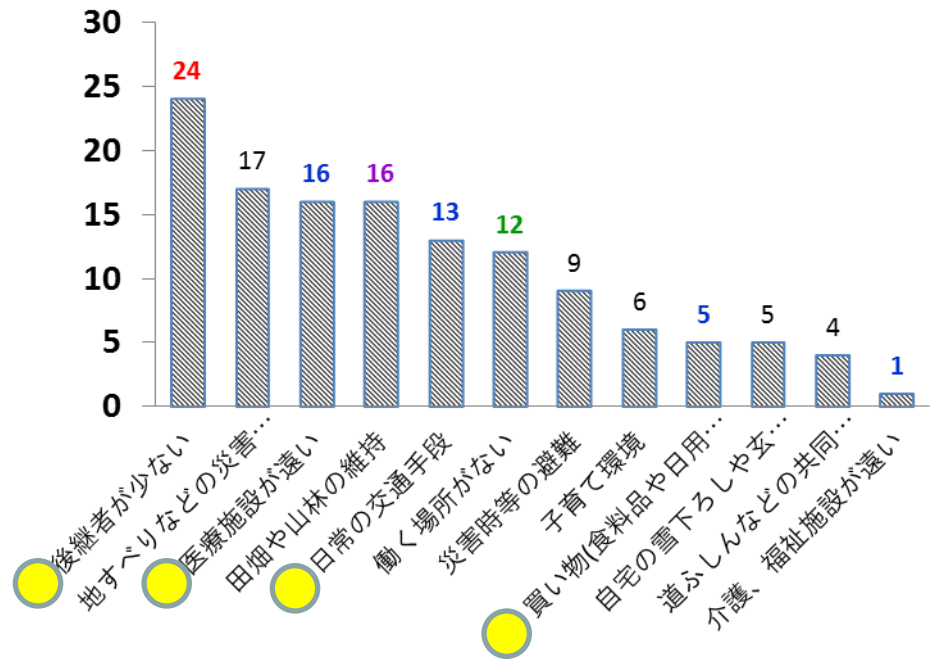
府内の給油所数は20年で半減



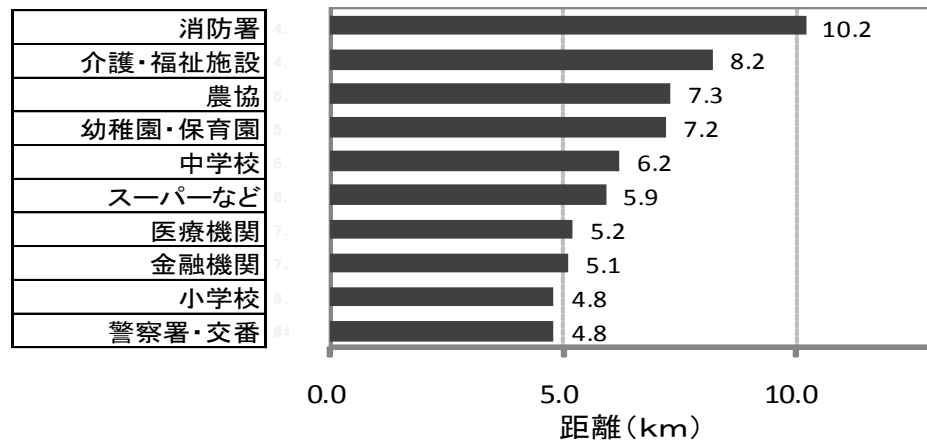
○年代別の人口割合 (2005年国勢調査)



集落の維持に関し、特に不安に感じていること



○農村集落から最寄りの各種施設までの距離は5km超



- ・ 高齢化が進み、後継者が少ない
- ・ 医療施設が遠い
- ・ 日常の交通手段に対する不安
- ・ 買い物の不安

(備考) 1 京都府農村振興課「過疎地域をはじめとした農村集落实態調査H19.8)」による。

2 過疎化・高齢化が進んだ141集落における上記調査結果である。

中山間地域での活用 2016(鶴ヶ岡)

実験日時:平成28年11月7日(月)~14日(月)

実施場所:南丹市美山町鶴ヶ岡地区

実施主体:京都府、木津川市

協力:鶴ヶ岡振興会、タナセン、ヤマハ発動機(株)
ヤマハモーターパワープロダクツ(株)

内容:イベントでの活用、観光面での活用、日常利用での使い勝手の検証

タナセン:地元出資の商店で農産物の直販や商品配達、買物客の送迎をEVを活用し実施





「京都美山さば寿司さみっとin鶴ヶ岡」での送迎利用



■ゴルフカー試乗の感想

乗り心地： 56%が「良い」、33%が「気にならない」、11%が「我慢できない」

乗り降りのしやすさ： 78%が「乗り降りしやすい」、22%が「気にならない」

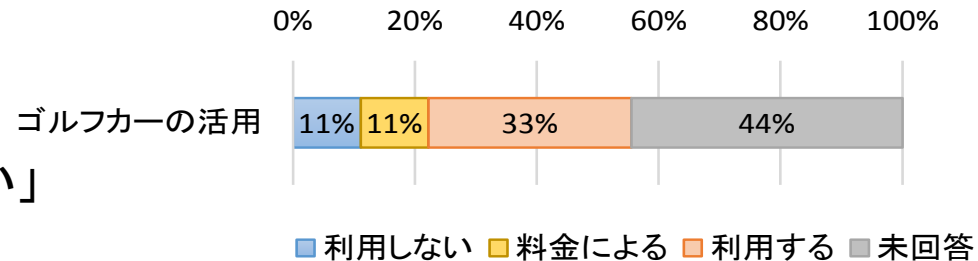
スピード： 22%が「遅い」、78%が「ちょうど良い」

オープンなクルマでの走行： 56%が「気にならない」、33%が「快適」、11%が「少し不安」

雨風寒さ対策： 56%が「現状で十分」、22%が「無くても良い」

■活用意向の有無

活用の意向： 33%が「利用する」、
11%が「料金による」もしくは「利用しない」



自由記述記載内容	回答数
ゴルフカーを1台だけでなしに、5台ぐらいで入れ、団体のツアーを田舎名人が案内する。買い物（高齢者）の支援に活用する。体力づくりのランニングのバン送者として活用。田舎にとって（車の少ない地域）大変役立つ乗りものになると思う。	1
美山町は自家用車以外では、動きがとれないので、このゴルフカーを自由に使えると、非常にいいと思う。観光客用に是非ほしい車です。	1
とても楽しく運転出来ました	1
バス停までの送迎等	1
少しのきよりだけど楽しかったです！お年寄りが利用する+子どもが楽しむを一緒に会話しながら楽しめたならいいなーと思います♪	1

成果と課題 2016(鶴ヶ岡)

- 試乗は一人での利用や複数での利用があり、子供との同乗など様々な組み合わせで行われた。
- 「乗り心地」「乗り降りのしやすさ」「スピード」「オープンなクルマでの走行」「雨風寒さ対策」全ての評価項目で非常に評価が高かった。
- 活用意向は「利用したい」33%と試乗の感想と比べて低い評価
- 利用料金については一回で「100円」~「300円」
- イベント開催日は天候に恵まれ、オープンな車両の良さが評価された。一方、普段使いでのゴルフカー利用は、地域を抜ける幹線道路の車両走行速度、移動距離から低くなった可能性が高い。

雑感:天候に恵まれ、車両の保管をタナセンの倉庫を活用できたことと地域柄、鍵やドアの要望はなかった。季節を選んだ観光ガイドツアーなど観光地をゆっくり楽しんでもらう場面での活用は大いに期待される。

想定される活用場面

自由記述記載内容	回答数
田舎の名所の案内。高齢者の移送サービス。デイナーサービスの送迎	1
美山町内をこの車でゆっくり走ると楽しいと思う。	1
町中や山道等	1
文化村、かやぶきの里	1
公園の中 (大野ダムとか広いし)	1

もうひとつの京都、いこう



森の京都

京都府中部地域(亀岡市・南丹市・京丹波町・福知山市・綾部市・京都市右京区京北)の「森の京都」には、日本の原風景が残る美山かやぶきの里や芦生の森をはじめとした豊かな自然、鮎や丹波くりや北山杉などの森の恵み、京都市中心部から約1時間と都会からも近く、人と人とのつながりのある豊かな暮らしが残る地域。

海の京都

京都府北部(宮津市・京丹後市・舞鶴市・福知山市・綾部市・伊根町・与謝野町)を「海の京都」と位置付け、地域活性化と観光振興を目指して、さまざまな事業を実施。平成27年、京都縦貫自動車道が全線開通し、アクセスが飛躍的に向上することから、多くの観光客を呼び込み、全国有数の競争力ある観光圏となる地域

お茶の京都

茶生産地として最も長い歴史を有し、素晴らしい景観を形成するとともに、現在も最高品質の緑茶を生産している京都府南部地域(宇治市・城陽市・八幡市・京田辺市・木津川市・久御山町・井手町・宇治田原町・笠置町・和束町・精華町・南山城村)において、世界文化遺産登録に向けた取組を契機に、宇治茶をテーマにお茶生産の美しい景観維持やお茶産業の振興、お茶文化の発信などを進めていく地域

観光面(もうひとつの京都)での活用の可能性

